

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。（建築基準法施行令第93条）

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県県土整備部建築課

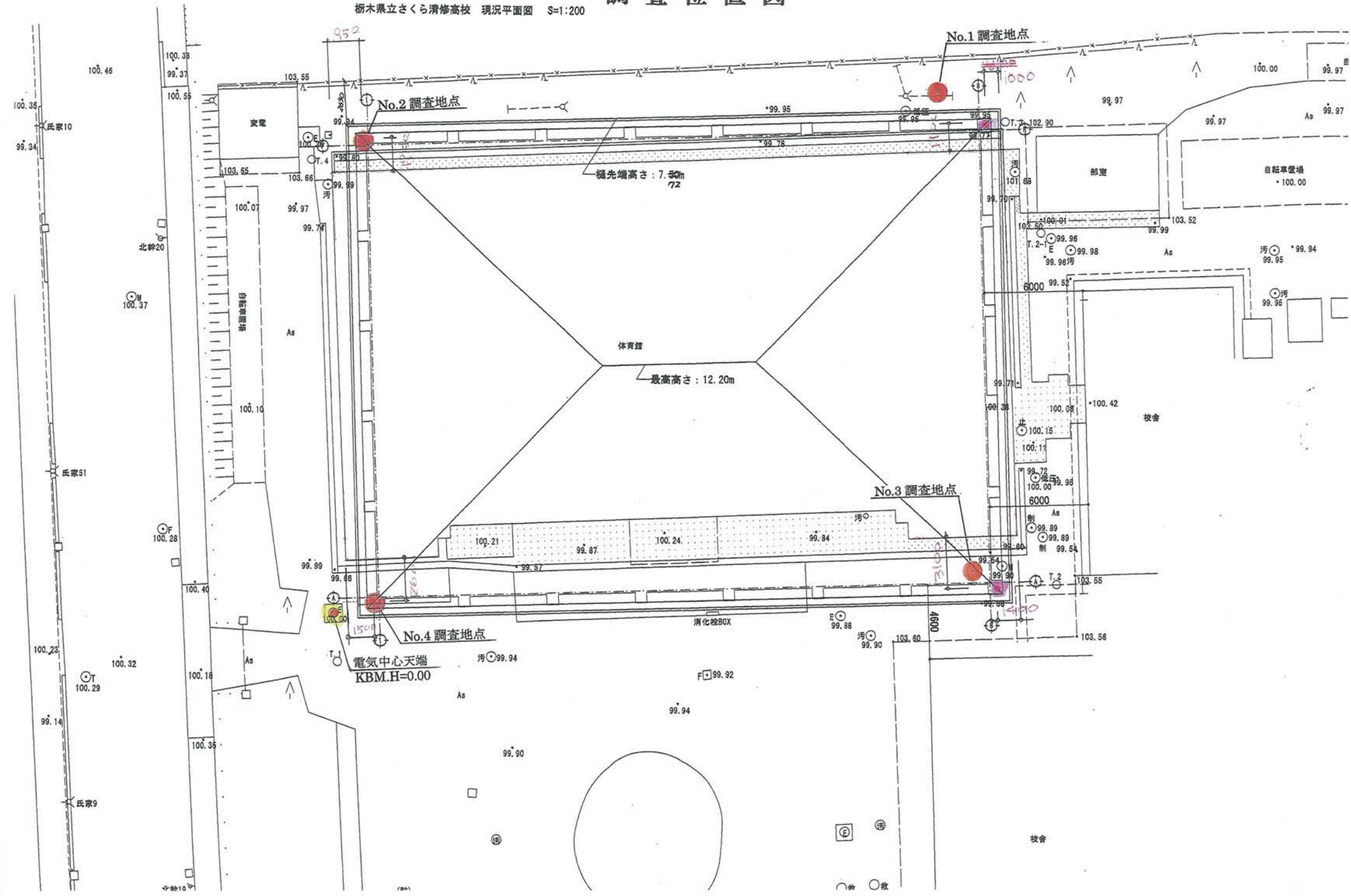
案内図

●.....調査地



調査位置図

栃木県立さくら清修高校 現況平面図 S=1:200



ボーリング柱状図

調査名 さくら清修高等学校体育館新築工事地質調査

事業・工事名 _____

ボーリングNo. _____

シートNo. _____

ボーリング名	No. 3		調査位置	栃木県さくら市氏家2807			北緯	36° 41' 22.11"	
発注機関				調査期間	平成22年9月15日～平成22年9月16日		東経	139° 57' 54.42"	
調査業者名				主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	99.87m	角度	180° 上 下 0°	90°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90°	水平 0°
総掘進長	10.32m	使用機種	試験機		東邦D0-DL		ハンマー落下用具	半自動落下	
		エンジン	ヤンマーTF90V-E		ポンプ		東邦BG3CL		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室内試験	掘進月日	
									深 度 (m)	10cm ² の打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名および結果	深 度 (m)	試料番号			
99.27	0.60	0.60	埋土	暗灰暗褐色				アスファルト厚5cm 0.40m 迄砕石 以深、黒ぼく土・礫の混合土	9/15	1.15	1	2	4	7					
98.42	0.85	1.45	表土	暗褐色				有機質シルトよりなる腐植物多量混入 0.95mより、細礫少量混入 最大礫径φ200mm前後	1.85	1.45	1	11	9	30	7				
					非に密な			φ5~100mm程度の円礫主体	2.00	2.00	2			50	50				
								マトリックスは細・粗粒砂等砂系	2.02					2	750				
								5.00m付近までは、孔壁崩れやすい	3.15	12	9	12	33						
								5.00m以深、粘土分少量混じる	3.45				30	33					
					密な				4.15	12	16	9	37						
									4.45				30	37					
									5.15	18	15	12	45						
									5.45				30	45					
93.77	4.65	6.10	砂礫	暗黄褐色				最大礫径φ200mm前後 φ5~120mm程度の円礫主体	6.15	32	14	4	50						
								マトリックスは細砂等砂系及び少量の粘性土	6.37			2	22	68.2					
								局所的に玉石多く混じる	7.15	20	19	11	50						
								含水やや多い	7.40			5	25	60					
								所々少量の逸水有り	8.15	30	20	7	50						
								全体に締め密実	8.32				17	88.2					
									9.15	19	20	11	50						
									9.39			4	24	62.5					
									10.15	30	20	7	50						
									10.32				17	88.2					

ボーリング柱状図

調査名 さくら清修高等学校体育館新築工事地質調査

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名 No. 4		調査位置 栃木県さくら市氏家2807		北緯 36° 41' 21.93"	
発注機関		調査期間 平成22年9月16日～平成22年9月17日		東経 139° 57' 53.13"	
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高 100.12m		角 180° 上 90° 下 0°		コ ア 鑑 定 者	
総掘進長 10.20m		方 向 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		ボーリング責任者	
		地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°		使用機種	
				試験機 東邦DO-DL	
				ハンマー落下用具 半自動落下	
				エンジン ヤンマーNFAD-8	
				ポンプ 東邦BG3CL	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験 (掘進月日)
										深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	N 値			深 度 (m)	試験名および結果	深 度 (m)	試料番号	
99.52	0.60	0.60	埋土	暗灰				表層 木の根多混入 碎石を主体とする	9/16 1.70	1.15	1	1	1	3					
98.52	1.00	1.60	表土	暗褐				有機質シルト主体 腐植物多量混入 有機物混入 下部 砂分少量混入し、細礫点在	1.46	16	7	8	31	2.9					
			○			中位		最大礫径φ140mm前後 φ3~60mm程度の円礫主体	2.15	8	9	8	25						
			○			密な		マトリックスは粗・細砂等砂系 部分的に砂分多く混じる 全体に少量の逸水有り	2.45										
			○			中位		GL-2.80m~4.85m 孔壁 崩れやすい 含水やや多い~多い	3.15	19	9	10	38						
			○			非に密な			3.45										
			○			非に密な			4.15	10	8	7	25						
94.62	3.90	5.50	砂礫	暗黄褐				最大礫径φ200mm前後 φ5~100mm程度の円・亜円礫主体	4.45										
			○			密な		マトリックスは細砂等砂系 及び少量の粘性土	5.15	10	17	23	50						
			○			密な		含水中位~やや多い	5.45										
			○			非に密な		GL-6.80m~7.70m 玉石の混入少ない	6.15	19	13	18	50						
			○			非に密な		全体に締め密実	6.40										
89.92	4.70	10.20	玉石混り砂礫	暗黄褐					7.15	13	12	12	37						
			○						7.45										
			○						8.15	15	35		50						
			○						8.35										
			○						9.15	16	21	13	50						
			○						9.40										
			○						10.15	50			50						
			○						10.20	5			5	300					